

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか、…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

## 思考スキル

### ○情報じょうほうを獲得かくとくする

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

### ○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作そうさを正しく行う

### ○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

### ○順序立てて変化をとらえる

- ・変化する状況じょうきょうを時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに筋道立てて明らかにする
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

### ○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分(計算式の数、素数、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいしょうせいに注目する
- ・規則や周期に注目する

### ○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

### ○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見るとらえる
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

### ○特定の状況を仮定する

- ・極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足みそを補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲はんいや大きさの見当をつける

## 思考スキル

### ○知識

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

### ○理由

- ・ 筆者の意見や判断の根拠こんきょを示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後はいごにあることを明らかにする

### ○置換ちかん

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況じょうきょうを図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

### ○比較ひかく

- ・ 多角的な視点してんで複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異さいを明確にする

### ○分類

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点そういてんに着目して、情報を切り分けていく

### ○具体化

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ ある特徴とくちょうを持つものを示す

### ○抽象化ちゅうしょうか

- ・ 個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

### ○関係

- ・ 文章どうしのつながりをとらえる
- ・ 部分と全体のそれぞれが互たがいに与えあう影響えいじょうに目を向ける
- ・ ある目的のための手段しゅだんとなることを見つけ出す

### ○推論すいろん

- ・ 情報をもとに、先の変化を予測する
- ・ 文章から、筆者の考えを論理的ろんりてきに導き出す

### ○類推

- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す
- ・ 個々の共通点から、特定の事象じじょうを導き出す
- ・ 要素間の意味をとらえ、情報を補おぎなう

# 小学5年 算数 — 解答と解説

**1**

(1)	(2)	(3)
9991	1	$\frac{1}{4}$
21	22	23

(4)	(5)
12	6
24	25

**2**

(1)	(2)	(3)
0.65 m <sup>2</sup>	12.56 cm <sup>2</sup>	2880 度
26	27	28

(4)	(5)	(6)
144	9 通り	99
29	30	31

(7)
55
32

**3**

(1)	(2)	(3)
12 %	6 %	8 %
33	34	35

**4**

(1)	(2)	(3)
24.56 cm	72 cm	25.12 cm
36	37	38

**5**

(1)	(2)	(3)
74	時速 12 km	6.9 km
39	40	41

**6**

(1)	(2)	(3)
60 度	63 度	9 度
42	43	44

**7**

(1)	(2)	(3)
147	103	23314449
45	46	47

**8**

(1)	(2)	(3)
232 秒後	6 回	71 回
48	49	50

(配点) 各5点×30 計150点

## 【解 説】

- ② (1)
- A2**
- 知識 再現する

(面積の単位)

$$1\text{m}^2 = 10000\text{cm}^2 \text{なので、} 6500\text{cm}^2 = \underline{0.65}\text{m}^2$$

- (2)
- A1**
- 再現する

(おうぎ形の面積)

$$4 \times 4 \times 3.14 \times \frac{1}{4} = \underline{12.56} (\text{cm}^2)$$

- (3)
- A2**
- 知識 再現する

(多角形の内角の和)

$$n \text{ 角形の内角の和} = 180 \times (n - 2) \text{ より、} 180 \times (18 - 2) = \underline{2880} (\text{度})$$

- (4)
- A1**
- 再現する

(最小公倍数)

16と24と36の最小公倍数は、右のすだれ算より

$$4 \times 3 \times 2 \times 2 \times 1 \times 3 = \underline{144}$$

$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 16 \ 24 \ 36} \\ 3 \overline{) \ 4 \ 6 \ 9} \\ 2 \overline{) \ 4 \ 2 \ 3} \\ \underline{\phantom{2} \phantom{1} \phantom{3}} \\ 2 \ 1 \ 3 \end{array}$$

- (5)
- B1**
- 特徴的な部分に注目する 調べる

(場合の数)

最も少ない金額<sup>きんがく</sup>の50円から、100円、150円、200円、……と50円きざみに、最も多い450円までつくることができるので、

$$450 \div 50 = \underline{9} (\text{通り})$$

- (6)
- B1**
- 特徴的な部分に注目する 置換

(公倍数と余り)

4と6の最小公倍数である12の倍数に3加えた数で100に最も近い数を求めます。

$$100 \div 12 = 8 \text{あまり} 4 \rightarrow 12 \times 8 + 3 = \underline{99}$$

- (7)
- B1**
- 特徴的な部分に注目する 調べる

(数列)

それぞれが前2つの数の和になっているので、

$$9 \text{ 番目の数は、} 13 + 21 = 34$$

$$10 \text{ 番目の数は、} 21 + 34 = \underline{55}$$

- ③ (食塩水の濃度
- <sup>のうど</sup>
- )

食塩水の濃度は、食塩水全体(食塩+水)の中の食塩<sup>わりあい</sup>の割合です。食塩水を混ぜるような場合も、それぞれの食塩水<sup>ぶく</sup>に含まれる食塩の重さをきちんと調べていきましょう。

- (1)
- A1**
- 情報を獲得する 再現する

$$30 \div (30 + 220) = 0.12 \rightarrow \underline{12} (\%)$$

(2) **A1** 情報を獲得する 再現する

濃度 8% の食塩水 300g にふくまれる食塩の重さは、 $300 \times 0.08 = 24$  (g)

水を 100g 加えるので、 $24 \div (300 + 100) = 0.06 \rightarrow 6\%$

(3) **A2** 情報を獲得する 再現する

それぞれの食塩水にふくまれる食塩の重さは、

$200 \times 0.03 = 6$  (g)、 $150 \times 0.08 = 12$  (g)、 $250 \times 0.12 = 30$  (g)

よって、 $(6 + 12 + 30) \div (200 + 150 + 250) = 0.08 \rightarrow 8\%$

のうど  
「濃度」という言葉  
の意味を確かめて  
おきましょう。



## 4 (平面図形・長さ)

平面図形で長さを求める問題では、それぞれの図形の特徴<sup>とくちょう</sup>を理解し、目的の長さを求めるきっかけを見つけ出します。同じ長さや角度、折り返しや回転などを利用できるようにしておきましょう。

(1) **A2** 情報を獲得する 再現する

おうぎ形の弧の長さ  $6 \times 2 \times 3.14 \times \frac{120}{360} = 12.56$  (cm)

まわりの長さは、半径  $\times 2$  + 弧の長さで求められるので、

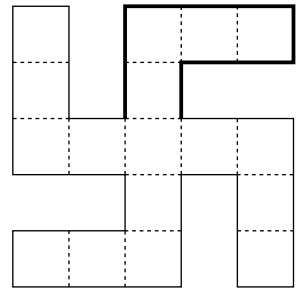
$6 \times 2 + 12.56 = 24.56$  (cm)

(2) **B1** 情報を獲得する 調べる

右の図の太線の部分は正方形の 1 辺の長さの 9 倍で、

図形のまわりの長さは太線の部分の 4 倍なので、

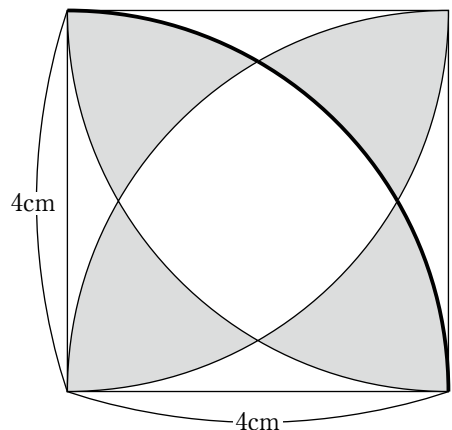
$2 \times 9 \times 4 = 72$  (cm)

(3) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

色をつけた部分のまわりの長さは、右の図の太線(弧の長さ)の 4 倍であることがわかります。

よって、

$4 \times 2 \times 3.14 \times \frac{90}{360} \times 4 = 25.12$  (cm)

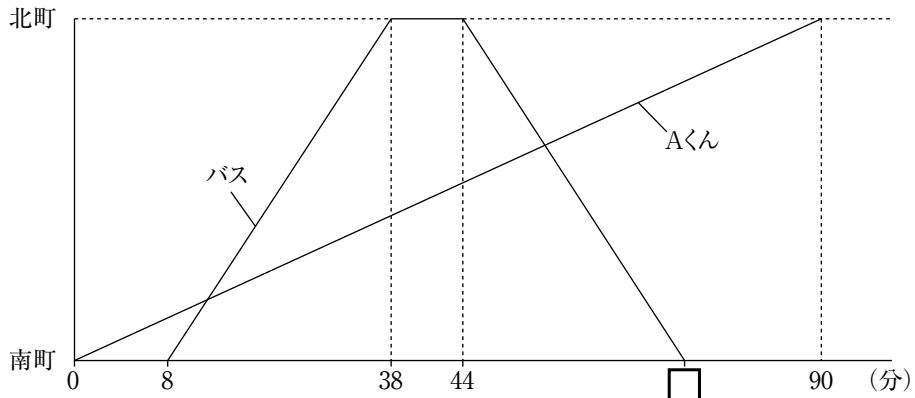


⑤ (速さ・ダイヤグラム)

ダイヤグラムから速さを読み取ること、あたえられた条件をもとにグラフに必要な情報を記入するということを確実にできるようにしておきましょう。また、追いこしやすれちがいがグラフ上ではどこになるのかを確認しておきましょう。

(1) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

バスが北町に着いたのはA君が出発してから、 $44-6=38$ (分後)



ここから、バスが片道にかかる時間は、 $38-8=30$ (分間)

よって、□に入る数は、 $44+30=74$

グラフの特徴的な部分に注目しましょう。



(2) **B1** 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

南町から北町までの距離は、 $36 \times \frac{30}{60} = 18$ (km)

Aくんは、18kmを90分で移動したので、

$$18 \div \frac{90}{60} = 12 \rightarrow \text{時速}12\text{km}$$

(3) **B2** 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる 特徴的な部分に注目する

バスの速さは時速36km(=分速0.6km)、Aくんの速さは時速12km(=分速0.2km)なので、バスが北町を出発するときの、Aくんと距離は、

$$18 - 0.2 \times 44 = 9.2 \text{ (km)}$$

Aくんとバスがすれちがうまでにかかる時間は、

$$9.2 \div (0.6 + 0.2) = 11.5 \text{ (分)}$$

よって、バスが進んだ距離は、

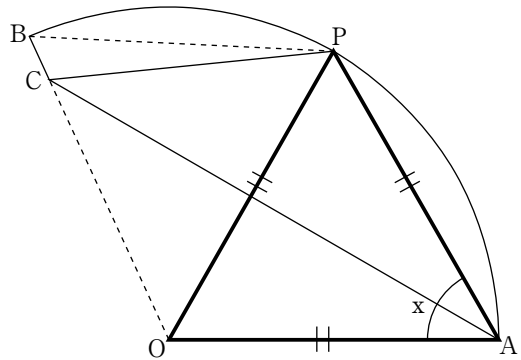
$$0.6 \times 11.5 = 6.9 \text{ (km)}$$

⑥ (折り返し図形)

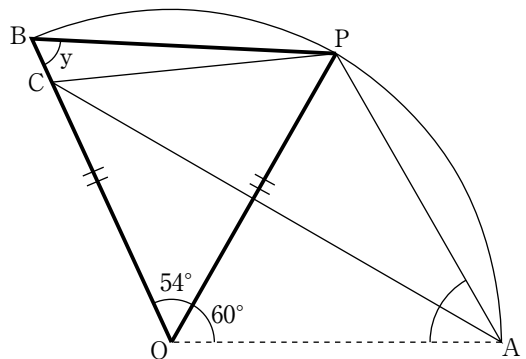
図形の折り返しは、折り返す前後で角度や長さが変わらないことがポイントです。また、おうぎ形の場合は半径にあたる長さがどこも等しくなることを利用して、二等辺三角形や正三角形の等しい角度を探していきましょう。

(1) **B1** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

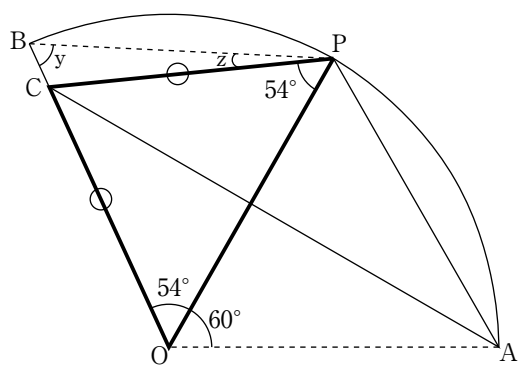
右の図のように直線OPを引くと、  
半径なので、 $OP=OA$   
折り返す前後なので、 $OA=PA$ より、  
三角形OAPは正三角形です。  
よって、 $x=60$ 度

(2) **B1** 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

角BOPは、 $114-60=54$ (度)  
半径なので、 $OP=OB$ より、  
三角形OBPは二等辺三角形です。  
よって、 $y$ は  
 $(180-54) \div 2 = 63$ (度)

(3) **B2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 順序立てて変化をとらえる

折り返す前後なので、 $OC=PC$ より、  
三角形OCPは二等辺三角形です。  
角CPO=角COP=54度  
(2)より、角BPO= $y=63$ 度  
よって、 $z$ は  
 $63-54=9$ (度)



長さや角の大きさが等しい  
部分に注目しましょう。





## 7 (整数・条件整理)

あたえられた条件をどのように使えばよいかを考えます。大小関係や、奇数+奇数、偶数+偶数、奇数+偶数のそれぞれの場合に和が奇数と偶数のどちらになるのか、などをもとにできるだけかんたんな計算で答えを求められるようにしましょう。

## (1) B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

$A < B < C < D$ がわかっているので、あたえられた和のうち、

最小の54は  $A+B$

最大の93は  $C+D$

であることがわかります。

よって、4つの整数の和は、 $54+93=147$

## (2) B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

奇数+奇数=偶数、奇数+偶数=奇数となることから、あたえられた和のうち、

54、72、80 …奇数+奇数

67、75、93 …奇数+偶数

であることがわかります。

よって、3つの奇数の和は、 $(54+72+80) \div 2=103$

## (3) B2 情報を獲得する 調べる 順序立てて変化をとらえる

(1)、(2)の結果から、偶数は、 $147-103=44$

残りの奇数は、

$67-44=23$  …A

$75-44=31$  …B

$93-44=49$  …D

となります。

よって、A、B、C、Dを左から順にならべた8けたの数は、23314449です。

奇数+奇数=偶数、  
奇数+偶数=奇数、  
偶数+偶数=偶数  
となります。



## 8 (周期)

同じ動作のくり返しの組み合わせでは、それぞれの周期の最小公倍数が全体の周期となります。また、この問題ではスイッチを入れたときに1回目のベルが鳴る点に注意しましょう。

## (1) B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

$8 \times (30-1) = 232$  (秒後)

## (2) B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

Aは8秒ごと、Bは10秒ごとに鳴るので、同時に鳴るのは8と10の最小公倍数の40秒ごとです。(1)から、Aが最後に鳴るのが232秒後なので、

$$232 \div 40 = 5 \text{ 残り } 32$$

これに、スイッチを入れたはじめの1回を加えるので、 $5 + 1 = 6$ (回)

(3) **B2** 情報を獲得する 調べる 特徴的な部分に注目する

AとCが同時に鳴るのは、8と12の最小公倍数の24秒ごとなので、

$$232 \div 24 = 9 \text{ 残り } 16 \rightarrow \text{AとCが同時に鳴るのは } 9 + 1 = 10 \text{ (回)}$$

Bのベルが最後に鳴るのは、 $10 \times (30 - 1) = 290$ (秒後)

BとCが同時に鳴るのは、10と12の最小公倍数の60秒ごとなので、

$$290 \div 60 = 4 \text{ 残り } 50 \rightarrow \text{BとCが同時に鳴るのは } 4 + 1 = 5 \text{ (回)}$$

AとBとCが同時に鳴るのは、8と10と12の最小公倍数の120秒ごとなので、

$$232 \div 120 = 1 \text{ 残り } 112 \rightarrow \text{AとBとCが同時に鳴るのは } 1 + 1 = 2 \text{ (回)}$$

重なりを図にして整理すると、

$$\text{AとBだけ同時に鳴る } 6 - 2 = 4 \text{ (回)}$$

$$\text{AとCだけ同時に鳴る } 10 - 2 = 8 \text{ (回)}$$

$$\text{BとCだけ同時に鳴る } 5 - 2 = 3 \text{ (回)}$$

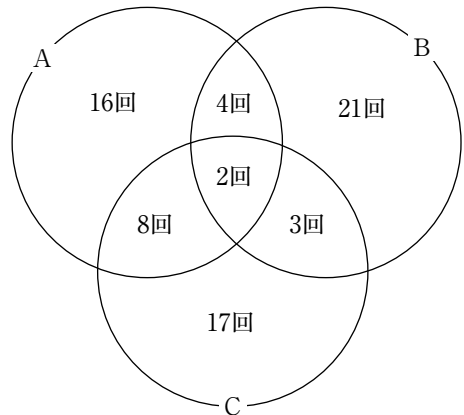
$$\text{Aだけ鳴る } 30 - (2 + 4 + 8) = 16 \text{ (回)}$$

$$\text{Bだけ鳴る } 30 - (2 + 4 + 3) = 21 \text{ (回)}$$

$$\text{Cだけ鳴る } 30 - (2 + 8 + 3) = 17 \text{ (回)}$$

よって、聞こえる回数は、

$$16 + 21 + 17 + 4 + 8 + 3 + 2 = 71 \text{ (回)}$$



最小公倍数に注目することがポイントです。



# 小学5年 理科 — 解答と解説

## 1

		(1)	(2)	(3)
番号	②	名前 はいにゆう	ア	ウ
	21	22	23	24

		(4)	(5)	(6)
番号	⑥	名前 しぼう(めしべ)	イ	風
	25	26	27	28

## 2

(1)	(2)	(3)
3 cm	8 cm	工
29	30	31

(4)	(5)	(6)
(正)比例 の関係	8.1 cm	18.8 cm
32	33	34

(7)					
ア	14 cm	イ	17 cm	ウ	14 cm
	35		36		37

(7)			
エ	11 cm	オ	11 cm
	38		39

**3**

(1)	(2)	(3)
うんぱん 作用	しゅうきょく	(せい)だんそう
40	41	42

(4)										
つぶどうしが	ぶ	つ	か	り	あ	っ	て	、	わ	れ
た	り	け	ず	れ	た	り	す	る	から。	43

(5)	(6)	(7)
ウ	エ	ぎょうかい 岩
44	45	46

**4**

(1)	(2)	(3)
ア	ア・エ・オ	ウ
47	(完答) 48	49

(4)	(5)
エ	ア
50	51

(配点)

- |   |                     |   |       |
|---|---------------------|---|-------|
| ① | (6)4点<br>他各3点×7=21点 | } | 計100点 |
| ② | 各3点×11=33点          |   |       |
| ③ | (4)4点<br>他各3点×6=18点 |   |       |
| ④ | 各4点×5=20点           |   |       |

【解 説】

① イネについての問題

(1) A1 知識

図1に描かれたイネの種子において、①が種皮、②がはい乳、③がはいです。はいはやがて葉となる子葉、くきとなるはいじく、根となる<sup>ようこん</sup>幼根からできています。はい乳の中には種子が発芽するときの栄養分がふくまれている、人が主に白米として食べているのはこのはい乳の部分です。

(2) A2 知識 比較

はい乳の中には、光合成によってつくられたでんぷんがたくわえられていて、これを栄養分とすることによってイネは発芽していきます。

(3) A2 知識 比較

種子の中で、はいの部分から根と芽がのびていくので、イトウのどちらかが正解になります。また、イネは単子葉類にあてはまる植物なので、1か所から同じような太さの根(このような根をひげ根といいます)がのび、はじめに出る子葉の枚数は1枚になります。これらのことから、イネの発芽のようすはウとわかります。

(4) A1 知識

図2に描かれたイネの花において、④がえい、⑤がおしべのやく(花粉ぶくろ)、⑥がめしべの子房です。めしべの先にある柱頭の部分に花粉がついて受粉が行われると、⑥の子房が大きくなっていき中に種子ができます。

(5) A1 知識

図2に示されたようなイネの花は早朝に咲きます。しかし、イネは自家受粉によって種子ができる植物なので、わずかにでもゆれて1つの中にあるおしべの花粉が柱頭につくと、一度開いたえいが閉じてしまいます。したがって、図2のような小さくて白いイネの花が観察できるのは、早朝の2時間くらいといった短い時間になります。

(6) A2 知識 理由

花を咲かせる植物の多くは、きれいな色の花びら(花弁)を持って虫をよび、その虫の体についた花粉が別の花の柱頭につくことによって受粉します。しかし、風によって花粉が運ばれるイネの花は虫をよぶ必要がないので花びらがありません。

② ものの重さとばねについての問題

(1) B1 抽象化 比較

図1のばねに20gのおもりをつるしたときはばねの長さが11cmになり、40gのおもりをつるしたときは14cmになっていることから、つるすおもりの重さを20g増やすごとに、 $14 - 11 = 3$ (cm)ずつ長くなっていることがわかります。これをばねの『のび』とよんでいます。

(2) **B1** 抽象化 類推

(1)によって、ばねにつるすおもりの重さを20 g 増やすごとに3 cm ずつのびることがわかったので、20gのおもりをつるして長さが11cmとなっている状態からこのおもりを取り去って図1のようにすると、ばねの長さは3 cm へって、 $11-3=8$ (cm)になるはずですが、これがばねに何もつるさないときの長さで、自然長とよんでいます。

(3) **B1** 抽象化 比較

ばねに何もつるさないときは、ばねののびの長さは0 cm です。そして、20gのおもりをつるすと3 cm、40gのおもりをつるすと6 cm、60gのおもりをつるすと9 cm…とのびが規則的に長くなっているのだから、横軸をばねにつるしたおもりの重さ、たて軸をばねののびの長さにして書いたグラフはエのようになります。

(4) **A2** 知識 理由

ばねにつるしたおもりの重さが2倍・3倍…となると、ばねののびも2倍・3倍…になっていて、このような関係を(正)比例の関係とよんでいます。

(5) **B1** 抽象化 置換

この実験で用いたばねは20gで3 cmのびる性質がありますので、つるすおもりの重さが $54 \div 20 = 2.7$ (倍)となったときは、ばねののびも2.7倍になるので、 $3 \times 2.7 = 8.1$ (cm)と求めることができます。

(6) **B1** 抽象化 置換

ばねにつるすおもりの重さを $72 \div 20 = 3.6$ (倍)にすると、ばねののびは $3 \times 3.6 = 10.8$ (cm)になります。この実験で用いたばねの自然長は8 cm でしたから、72gのおもりをつるしたときのばねの長さは、 $8 + 10.8 = 18.8$ (cm)になります。

(7) **B1** 抽象化 置換

ア 表より、40gのおもりをつるすと、アのばねの長さは14 (cm) になります。

イ 図4のように2本のばねを連続してつないで60gのおもりをつるすと、上下どちらのばねにも60gの重さがかかります。このことから、イのばねの長さは、表より17 (cm) になります。

ウ 図5のようにつるしたときは、上にあるばねウには $20 + 20 = 40$ (g)の重さがかかり、下のばねエには20gの重さがかかります。このことから、ウのばねの長さは、表より14 (cm) になることがわかります。

エ 20gの重さがかかるばねエの長さは、表より11 (cm) になります。

オ 棒の中央に40gのおもりをつるして支えると、2本のばねにはそれぞれ $40 \div 2 = 20$ (g)の力がかかります。このことから、20gの重さがかかるオのばねの長さは、表より11 (cm) になります。

ばねの長さの問題では、全体の長さとのびの長さのちがいを常に意識しよう



③ 川のはたらきと地層についての問題

(1) A1 知識

川を流れる水には、川底をけずり取るしん食作用、けずり取った土砂を運び去る運ばん作用、流されてきた土砂を積もらせるたい積作用といった3つのはたらきがあります。運ばん作用は川の流れる速くなるほど強くなるため、より大きなつぶの土砂が運ばれていくようになります。

(2) A1 知識

地層がたい積したあとで横方向からの大きな力がはたらくと、図1のように層が曲がってしまうことがあります。このような地層の変化をしゅう曲とよんでいます。

(3) A1 知識

地層がたい積したあとで横方向からの大きな力が急激にはたらくと、図2のように層が割れてずれたようになってしまうことがあります。このような地層の変化を断層とよんでいます。

(4) B2 理由 比較 具体化

川から流されてきて海底にたい積する小石や土砂は、流されてくる間に石や砂のつぶどうしがぶつかり合って割れたり、角がけずられたりするので、どのつぶも丸みのある形になっています。

(5) B1 理由 比較

アサリは、川の水が海に流れこむ河口付近に近い浅い砂浜で生活しています。このことから、アサリの化石が見られた①の層は、河口近くの浅い海底でたい積したとわかります。このように、地層ができたときの環境がわかるものを示相化石とよんでいます。

(6) B1 理由 比較

大きな地かく変動で地層の逆転が起こっていなければ、下にある層ほど古くできたものなので、柱状図に見られた①と②の層では下にある②の層が先にたい積したものとわかります。一方、川から流されてきたいろいろな大きさの土砂は、海に流れつくとき運ばれるいきおいがなくなって、粒の大きさが大きくて重いものから順に小石→砂→泥(ねんど)と海底にしずんでたい積するため、ねんどから砂へとたい積したつぶが変化したのは、水深が浅くなったと判断することができます。

(7) A1 知識

近くの火山がふん火すると、そこからは風に飛ばされて大量の火山灰がふってきます。このような火山灰には多くの鉄分がふくまれているので、地層の中で長い時間をかけて赤さびのような状態となるため、赤土として見分けることができます。関東地方の地層の中には、富士山や浅間山がふん火したときに出てきた大量の火山灰がたい積した層が見られ、これを関東ローム層とよんでいます。このような火山灰の地層の中には、地層の重みで火山灰が固められた凝灰岩ぎょうかいがんを見ることができます。

## 4 いろいろな動物についての問題

## (1) A2 知識 理由

魚類のなかまにあてはまるコイ、両生類のなかまにあてはまるカエル、は虫類のなかまにあてはまるトカゲ、鳥類のなかまにあてはまるハト、ほ乳類のなかまにあてはまるネコのすべてに共通する特ちょうは、体の中に背骨があるということです。このことから、これら5種類の生き物をまとめてセキツイ動物とよんでいます。なお、魚類の心臓は1心房1心室、両生類の心臓は2心房1心室、は虫類の心臓は不完全な2心房2心室、鳥類とほ乳類の心臓は2心房2心室になっています。

## (2) A2 知識 分類

トカゲと同じは虫類のなかまにあてはまる動物には、ヤモリ、カメ、ワニ、ヘビなどがあります。サンショウウオとイモリは両生類のなかまにあてはまります。

## (3) A2 知識 分類

5種類のセキツイ動物の中でほ乳類だけは、母親の体内にある子宮の中で子を育ててからうみます。一方、魚類と両生類は水中にからの卵をうみ、は虫類と鳥類は陸上にからの卵をうみます。

## (4) A2 知識 分類

5種類のセキツイ動物の中で鳥類とほ乳類は、まわりの気温が変化しても体温をほぼ一定にたもつことができます。このような動物を恒温動物こうおんとよんでいます。一方、魚類・両生類・は虫類はまわりの気温にあわせて体温が変化してしまいます。このような動物を変温動物へんおんとよんでいます。

## (5) A2 知識 分類

5種類の動物の中で魚類だけは一生を水中で生活するので、えらから酸素を取り入れて呼吸しています。また、カエルのような両生類でも、オタマジャクシのような子ども(幼体)のうちはえらを使って水中の酸素を取り入れて呼吸をしています。一方、成体となった両生類やは虫類、鳥類、ほ乳類は肺から酸素を取り入れて呼吸をしています。

生活場所やすがたなどからは分類が判断しづらい「まちがしやすい動物」をまとめておきましょう



## (記述問題の採点について)

- ・解答の字数制限にしたがっていない場合…不正解
- ・明らかな誤字・脱字がある場合 …- 1点
- ・文章表現の不備がある場合 …- 1点



# 小学5年 社会 — 解答と解説

## 1

問1								
A	ス	B	イ	C	カ	D	シ	
21		22		23		24		
問2							問3	
E	ア	F	キ	G	エ	H	カ	キ
25			26		27		28	29
問4			問5		問6		問7	
クリーク			イ		ア		イ	
30			31		32		33	
問8				問9				
吉野(よしの) (川)				ア				
34				35				

## 2

問1		問2		問3		問4					
打製(だせい)		ウ		土偶(どぐう)		イ					
36		37		38		39					
問5		問6		問7		問8		問9			
(1)	ア	(2)	エ	ウ	イ	エ	オ				
40		41		42		43		44		45	
問10				問11		問12		問13			
(1)	ア	(2)	大阪府		キ	ア	エ				
46		47			48		49		50		

**3**

問1					
(1)	調	絹や海産物などの地方の特産物を			
	(2)	朝廷に			
		(納める税)			
問2		問3		問4	問5
ウ		校倉(あぜくら) (造)		ウ	a 地 b 民
53		54		55	(完答) 56
問6	問7	問8	問9		問10
イ	エ	ウ	菅原道真 (すがわらのみちざね)		エ
57	58	59	60		61
問11	問12	問13	問14	問15	
ア	イ	エ	ウ	ウ	
62	63	64	65	66	

(配点)

**1** 問5・問9 **2** 問12 **3** 問1(1)・問6・問14 各3点

**3** 問1(2) 4点

上記以外 各2点 計100点

【解 説】

① 日本の平野に関する問題

最初にア～ソの平野を確定します。アは十勝平野、イは石狩平野、ウは津軽平野、エは秋田平野、オは庄内平野、カは越後平野、キは富山平野、クは仙台平野、ケは関東平野、コは濃尾平野、サは讃岐平野、シは高知平野、スは筑紫平野、セは熊本平野、ソは宮崎平野です。

問1 A3 知識 具体化 置換

有明海に面している平野は筑紫平野と熊本平野で、水路が網の目のように延びていることからAは筑紫平野、泥炭が堆積していた平野は北海道に特徴的で、現在水田が広がっていることからBは石狩平野、信濃川の下流に広がる平野であることからCは越後平野となります。信濃川下流に広がる越後平野は、度重なる洪水の被害に苦しんでいましたが、1927（昭和2）年に旧寺泊町付近に大河津分水路が建設されたことにより、洪水の被害は大幅に減少しました。促成栽培が行われている主な平野は宮崎平野や高知平野で、仁淀川は高知市付近で土佐湾に注ぐ川ですので、Dは高知平野となります。

問2 A2 知識 具体化

Eの濃尾平野は愛知県から岐阜県にまたがって広がっています。1959年の伊勢湾台風では高潮により大きな被害を受けました。Fの讃岐平野は、北に中国山地、南に四国山地があるため、降水量が比較的少なくなっています。そのため干害に見舞われやすく、多くのため池がつくられています。Gの津軽平野は青森県西部にある平野で、平野の南部は、りんごの大産地となっています。中央部を流れる岩木川は、河口付近で三角洲を形成しています。Hの十勝平野などで行われている輪作とは、同じ土地で異なった作物を1年から数年ごとに順番に栽培して地力の回復を図る栽培方法のことです。

問3 A1 知識

干拓は海などに堤防を築いたのち堤防内の水を排水して陸地を造成する方法で、日本では有明海の沿岸の他に、岡山県の児島湾や秋田県の八郎潟などで行われてきました。有明海の沿岸では鎌倉時代末から干拓が行われています。石狩平野ではかつては泥炭地と呼ばれる、水はけが悪く酸性が強いいため作物ができない土地が広がっていましたが、他から良質な土を入れて耕地を改良する客土を実施し、現在では北海道の稲作の中心地となりました。水はけの悪い越後平野では、地下に埋設されたパイプから余分な水を排水する暗きょ排水が行われました。

問4 A1 知識

クリークは低湿な平野の耕地の周囲に設けられた灌漑・排水のための水路で、かつては舟による輸送にも盛んに利用されました。現在でも一部が観光用に使用されています。

問5 A2 知識 比較

2018（平成30）年のコシヒカリの品種別作付面積は、全国の約35%を占めています。東北地方では福島県の会津盆地などで盛んに生産されています。

問6 A1 知識

木曾川、長良川、揖斐川は三重県桑名市付近で伊勢湾に注いでいます。伊勢湾は渥美半島、知多半島、志摩半島などで囲まれた愛知県と三重県に面した湾です。駿河湾は静岡県、若狭湾は福井県と京都府、土佐湾は高知県にそれぞれ面しています。

問7 **A2** **知識** **分類**

木曾川・長良川・揖斐川の3つの大きな河川が集中する濃尾平野南部では、洪水による被害が多発していたため、かつてはイのように盛り土をした上につくられた避難用の住まい（水屋）が多く見られました。またこの地域は堤防で囲まれた中に集落が立地しているところが多く、そこから輪中という呼び方が生まれています。アの合掌造りは富山県や岐阜県、エの曲がり屋は岩手県などで見られた建物です。ウは竹富島に残る沖縄県の伝統的な民家です。

問8 **A2** **知識** **具体化**

讃岐平野の水不足を解消する目的のために、徳島県の三好市付近から吉野川の水を引水する香川用水が建設されました。

問9 **B2** **抽象化** **置換** **分類**

本文から下線⑥の平野では畑作が盛んなことが分かりますので、アとなります。イは濃尾平野、ウは津軽平野、エは石狩平野の地形図で、いずれも水田が広がっていることが読み取れます。

## ② 旧石器時代～飛鳥時代に関する問題

問1 **A1** **知識**

旧石器時代の石器は、主として石を打ち欠いてつくった打製石器です。縄文時代になると、本文にあるように石を磨いてつくった磨製石器が広まりました。

問2 **A1** **知識**

ナウマン象は朝鮮半島を経由して日本にやってきた象で、北海道から沖縄にかけて生息していました。明治初期にドイツ人ナウマンの名前をとって命名されました。1948年に長野県の野尻湖遺跡から化石が発見されています。大陸にいたマンモスやおおつものじか、ナウマン象の化石などが日本列島で発見されていることから、数万年前の日本列島が大陸の一部だったことが分かります。

問3 **A1** **知識**

土偶は縄文時代につくられた土人形で、栗などが多く収穫されることを願ったり、魔除けや子孫の繁栄を祈ったりするために使用されたのではないかとされています。

問4 **A2** **知識** **分類**

貝塚は集落の一部にあり、当時食べられていた団栗や栗、山菜など食物の残りが土器の破片、石器などが捨てられていました。縄文時代は温暖化が進み、雨や雪の量が増えたため森林が増えました。また氷河が溶けて海面が上昇し、現在より内陸部にまで海が進入してきていました。そのため内陸部の集落の貝塚でも海の貝が多く発見されています。

## 問5

(1) **B1** **知識** **理由**

高床倉庫は収穫した稲の穂などを保管した倉庫で、湿気を防ぐために床を高くして風通しをよくしていました。弥生時代の銅鐸などに多く描かれています。

(2) **A1** **知識**

田げたは田に足がめりこまないようにはく下駄です。弥生時代の田は低湿地にある深田が多かったため使用されました。脱穀のために用いられた木製の農具がうすやきねです。石包丁は稲の穂を摘み取るのに使われた石器です。

問6 **A2** **知識** **分類**

稲作が行われるようになった弥生時代から貧富の差や身分の差が生まれ、力をたくわえた有力者が豪族となり、周囲のムラを従えていきました。佐賀県にある吉野ヶ里遺跡からは戦いに備えた物見槽や濠などが発見されています。群馬県の岩宿遺跡では1946年に石器が発見され、その後の学術調査により、その石器が旧石器時代のものであると確認されました。佐賀県にある縄文時代の菜畑遺跡からは、最古の水田跡などが発見されています。三内丸山遺跡は青森県にある縄文時代の遺跡で、計画的なむらづくりや粟の栽培跡などが見られます。

問7 **A2** **知識** **理由**

弥生時代の土器は、縄文時代の土器に比べて高い温度で焼かれているなどの理由から、薄手で硬く、赤褐色という特徴がある土器です。1884年に文京区弥生で最初に発見されました。縄文時代の土器は低い温度で焼かれているため、こわれやすいという特徴があります。

問8 **A2** **知識** **比較**

弥生時代に祭りなどに使われた銅鐸は、主に銅と錫の合金である青銅でできています。銅鐸は初め楽器として使用されましたが、後には祭りの道具として用いられるようになりました。表面に高床倉庫など当時の生活の様子が描かれているものが見られます。銅剣、銅矛は本来、武器でしたが、非実用的なものも多く見られます。銅鏡は古墳時代に多く輸入されました。

問9 **A1** **知識**

1世紀半ば頃の奴国が中国に使いを送って金印をもらったことなどが描かれているのは『後漢書』東夷伝、3世紀初め頃の邪馬台国などの様子が描かれているのは『魏志』倭人伝です。「漢委奴国王」と記された金印は、江戸時代に福岡県の志賀島で発見されました。『漢書』地理志には、紀元前1世紀頃の日本が100余りの国に分かれていたことが描かれています。

問10

(1) **A1** **知識**

大阪府堺市にある大山古墳は、5世紀頃築造された全長約486mの日本最大の前方後円墳です。江田船山古墳は熊本県、菅田御廟山古墳は大阪府、稲荷山古墳は埼玉県にあります。

(2) **A1** **知識**

世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」は、4世紀後半から6世紀前半にかけて築造された、半壊状態のものも含めると50基近くの古墳からなる古墳群で、大山古墳や菅田御廟山古墳なども含まれます。大阪府の堺市、羽曳野市、藤井寺市にかけて広がっています。

問11 **A2** **知識** **置換**

aは高句麗、bは百濟、cは伽耶、dは新羅です。日本と交流のあった百濟からは、王仁などが招かれて漢字や儒教などが伝えられました。また仏教は百濟の聖明王から伝えられたことが、日本書紀などに記されています。朝鮮半島の北部付近にあった高句麗とヤマト政権は、4世紀末から5世紀初めにかけて対立していたことが、現在の中国吉林省に残されている414年に建立された高句麗好太王碑に記されています。

問12 **A2** **知識** **比較**

604年に制定された十七条の憲法には、豪族たちが争いをやめて話し合いを尊重し、天皇に服従することや、仏教を尊重することなど、豪族たちの心構えが記されています。憲法と名前がついて

いますが、現在の日本国憲法とは意味合いが異なります。

問13 **A2** 知識 比較

公地公民制は、それまでの氏姓制度による私地私民を廃止し、土地や人民はすべて朝廷のものとするという制度です。公地公民制では6年ごとに戸籍を作成し、それに基づいて6歳以上の男には2段、女にはその3分の2の口分田を与え、それによって農民の生活を保障し税を確保しようとなりました。大化の改新は中大兄皇子が中臣鎌足らと天皇中心の国づくりを目指して645年に起こしたもので、翌年改新の詔を出し、公地公民制や班田収授の実施など様々な改革を行いました。

③ 奈良～平安時代に関する問題

問1

(1) **A2** 知識 置換

律令では調の他に稲を国司に納める租、布などを中央政府に納める庸、国司が農民などを年60日を限度として労働させることができる労役である雑徭のほか、国の守りにつく兵役などが定められていました。中でも九州の防備に派遣される防人は厳しい仕事でした。

(2) **B1** 知識 抽象化

調は絹や海産物などの地方の特産物を中央政府に納める税で、中央政府の主要な財源となっていました。調や庸は農民が都へ運ばなければならず、その往復の食料は自分たちで用意しなければなりません。そのため農民の負担は大変重く、調や庸の負担のない女性として戸籍に偽って登録することなどが多く見られました。

解答を書き終えたら、必ず読み返してみるんだニヤ



問2 **A1** 知識

『風土記』は713年に諸国に作成することが命じられた書で、地名の由来や産物、伝承などが記されています。現在5国の風土記が残されていて、『出雲国風土記』のみが完全に残されています。日本書紀は720年に成立した、神代から持統天皇までの歴史が記された書、古事記は712年に成立した、神代から推古天皇までの天皇や皇室の伝承などについて記された書です。『万葉集』は、仁徳天皇の代から8世紀半ばまでの和歌約4500首が集められた歌集です。大伴家持らが編さんしたものとされ、8世紀後半頃に完成しました。

問3 **A1** 知識

聖武天皇の遺品を収めた東大寺の正倉院は、北倉・中倉・南倉に分かれ、北倉・南倉が校倉造となっています。校倉造は、三角柱の角材を組み合わせて建築する様式です。

問4 **B1** 知識 理由 比較

聖武天皇は仏教をあつく信仰し、仏教によって国家を守ってもらうという鎮護国家思想のもと、国ごとに国分寺を、総国分寺として東大寺を建て、そこに大仏（盧舎那仏）をつくりました。

問5 **A1** 知識

723年に出された三世一身法では、新たに池や溝を造成して開墾すれば、本人・子・孫（または子・孫・ひ孫）の三世代の私有を、旧来の池や溝を利用して開墾すれば本人一代の私有を認めました。

しかしこの法の施行によっても口分田の不足が解消されなかったため、聖武天皇は743年に墾田永年私財法を發布し私有地の永久所有を認めました。この結果貴族や大寺院の私有地である荘園が増加していき公地公民制はくずれていきました。

問6 B1 知識 理由 比較

桓武天皇は奈良時代のように仏教の僧侶が政治に口を出してくることを避けること、律令政治を立て直すこと、などを目的に平安京遷都を行いました。桓武天皇は他に、兵制改革として健児の制の実施なども行いました。

問7 A1 知識

桓武天皇は坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して蝦夷を征討させ、蝦夷の族長（アテルイ）を降伏させました。源義家は前九年の役や後三年の役で活躍した人物、大上御田歙は614年に遣隋使、630年には第1回遣唐使として中国に渡った人物、源頼朝の父である源義朝は、平清盛と争い平治の乱で敗れた人物です。

問8 A1 知識

奈良時代は政治と仏教が混合していたため、それを嫌った最澄・空海らは政治の影響の及ばない比叡山と高野山にそれぞれ延暦寺と金剛峯寺を建立し、天台宗と真言宗を開きました。

問9 A1 知識

遣唐使は630年から894年の間に20回ほど任命され、そのうち実際に唐に渡ったのは15回ほどです。菅原道真は894年に遣唐使に任命されましたが、航路の危険性や唐の衰退などを理由に派遣停止を求め、その結果、遣唐使は停止されました。当時の遣唐使船の造船技術は未熟で、また新羅と関係が悪化したこともあって、危険な南島路や南路を航海しなければならないこともあり、遭難が大変多くなっていました。

問10 A1 知識

藤原純友は伊予の日振島を根拠地として、瀬戸内海で反乱を起こしました。下総の猿島を根拠地として反乱を起こした平将門の乱と合わせて承平・天慶の乱といえます。当時の朝廷は武士の力を借りなければ鎮圧できませんでした。藤原道長の子である藤原頼通は平等院鳳凰堂を建立し、約50年間にわたり摂政・関白を務め藤原氏の全盛時代を築いた人物です。藤原鎌足の子である藤原不比等は、文武天皇の命により刑部親王らと大宝律令をつくった人物、藤原元命は尾張の国司で悪政を農民に訴えられ、989年に国司をやめさせられた人物です。

問11 A1 知識

『枕草子』は10世紀の終わりに書かれた、清少納言の随筆集です。紫式部は『源氏物語』、紀貫之は『土佐日記』を著しました。また紀貫之は『古今和歌集』の編纂も行いました。後三条天皇は藤原氏と外戚関係がなく親政を行った天皇です。

問12 A1 知識

イは藤原道長の三女の威子が後一条天皇の後となる日に道長が詠んだ歌です。アは717年に遣唐使とともに留学生として唐にわたり、のちに唐の高官になった阿倍仲麻呂の歌、ウは平城京の立派な様子をうたった小野老の歌、エは防人にならなければいけない農民が、子どもたちとの別れを悲しんでいる様子を詠んだ、万葉集に載っている歌です。

問13 **A2** 知識 比較

院政とは上皇または法皇が自分の住まいで政治を行うことです。白河天皇は藤原氏の勢力を抑えるために上皇となり、1086年から43年間にわたって院政を行いました。

問14 **B1** 知識 理由 比較

平清盛は現在の兵庫県神戸港の一部である大輪田泊を修築して、積極的に宋との貿易を行い多くの利益を得ました。また天皇の外戚となることで朝廷での勢力を伸ばし、多くの荘園から収入を得て資金源としたことなども、勢力を伸ばすことができた一因となりました。新羅との関係を強化した事実はありません。

問15 **A1** 知識

安芸守だった平清盛は厳島神社をあつく信仰し、社殿を造営するなどして、平氏の氏社のように敬っていました。アは平等院鳳凰堂、イは唐招提寺金堂、エは法隆寺金堂です。

(記述問題の採点について)

- ・ 解答の字数制限に従っていない場合…不正解
- ・ 明らかな誤字・脱字がある場合…－1点
- ・ 文章・文末表現の不備がある場合…－1点

③問1(2)

「地方」という語句が使われていない場合…不正解





小学五年  
国語  
—  
解答と解説

1

問一	i	
	オ	21
	ii	
	ア	22
	iii	
	ウ	23
問二		
	ウ	24
問三		
	イ	25
問四		
	エ	26

問五			
う	風	ラ	ど
が	味	フ	う
い	は	で	せ
い	で	い	消
と	き	い	え
考	る	と	て
え	だ	考	な
て	け	え	く
い	細	る	な
る	か	優	る
。	く	理	も
	描	に	の
	い	対	だ
	た	し	か
	ほ	、	ら

問六	ア	
	イ	30
	ウ	
	エ	31
問七		
	やる	32
	る	
	気が	
	ない	29

問八	⑦	
	ア	34
	⑩	
	イ	35
問九		
	イ	36
問十		
	自分	37
	勝手	
	手	33

2

問一	ウ	
問二	1	
	イ	35
	2	
	エ	36
3		
問三	オ	37
	リズム	
	ム	
	感	38

問四	日	
	本	
	で	
	は	
	、	
	他	39
問五		
	イ	40
問六	我	
	田	
	引	
	水	41

<b>5</b>		<b>4</b>		<b>3</b>			
⑥	①	①	⑤	③	①	問十	問七
銭湯	貿易	エ	お	お	め	は	ウ
		②	っ	あ	し	不	問八
62	57	オ	し	い	あ	思	ア
⑦	②	③	や	す	が	議	問九
温厚	退職	ア	っ	る	っ	が	相
		④	た	④	て	っ	手
63	58	ウ	51	49	②	た	に
⑧	③	⑤		ご	い	。	悲
政治	残留	イ		ら	ら	問十一	し
		55		ん	っ	ウ	44
64	59	56		に	し	45	
⑨	④			な	や	46	
提案	条例			り	っ		
				50	て	48	
65	60						
⑩	⑤						
清潔	連綿						
66	61						

(配点)

{ ① [問一]各2点、[問五]7点、[問八]各3点、他各5点 }  
 { ② [問二]各2点、他各5点 }  
 { ③④⑤各2点 }

計150点

【解説】

1 まはら三桃の「風味◎」から出題しました。

美術部に所属する風味が、同級生たちといっしょに文化祭で学校の正面玄関に飾る看板を制作する場面です。絵にかける思いが他の生徒たちと微妙に食い違い、から回りにしまふ風味の様子をおさえながら読みましょう。

問一 A2 知識 関係

それぞれ次のことが入ります。

- i 中学校で美術部に入ってから以降、風味の絵を描く能力が目立って上達したことを表しています。「めきめき」が最適です。
- ii 風味は、正野たちが口ではもつともらしいことを言いながら、本当は樂をしたいと考えていることがはっきり分かると感じています。「みえみえ」が当てはまります。
- iii 正野の発言に対して風味が急に低い声で怒り始めたことで、沙織は何とか落ち着かせようと「まあまあ、風ちゃん落ち着いて」と発言しています。この場面で風味の反応に対して沙織がいらいらする要素は見当たらないので、「いらいら」ではなく「おろおろ」が入ります。

問二 B1 理由 具体化

距離が縮まったということは、何か仲良くなるきっかけがあったということです。美術部の話し合いの場面を読み進めると、「白夜の騎士・ルーク」という作品をテーマに絵を描くという風味の提案に対して、優理が間髪入れずに賛成している様子が読み取れます。——②四行前の「意気投合」という言葉が

——①の「距離が縮まった」と対応していることも合わせて考えましょう。

問三 B1 具体化

直後の文に「正直言つて、女子だけで十分だと思えた」とあることに注目しましょう。女子は風味と仲良しの沙織、そして風味と並び称されるほどの実力を持ち、絵の題材の話で意気投合したばかりの優理の三人です。——⑧四行後の「絵が好きで、美術部に入つたのに」という檜橋の発言を「思いがけない言葉」ととらえていることから、風味は男子三人が絵に対してあまり情熱を持っていないと考えていたと読み取れます。

問四 B1 理由

——③直後には「優理はすでに一枚目の下絵を仕上げているらしく、二枚目に取りかかっている」とありますが、風味が驚いているのは作業の速さではありません。続きを読み進めると、優理の描いた一枚目の下絵について、風味がルークの胸元にあるペンダントの複雑な模様がないのではないかと質問していることが分かります。これが「目を見開いた」の原因です。

問五 B2 推論 分類 具体化

両者のちがいを説明する問題です。全体の形として「優理が〇〇と考えているのに対して、風味は□□と考えている」のように、両者を対比させて書くように意識しましょう。基本的に、優理は「どうせ消えるのだから細かく描く必要はない」という態度、風味は「細かく描くべきだ」という態度を示していますから、それぞれを盛り込んで解答を作りましょう。

※ 設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点3点とします。

問六

**B2** 理由 推論

——⑤前後に「その言葉が、激しく胸をつきさした」「上目づかいににらむ」という表現があることから、正野の発言に対して激しく反発を覚えていることが読み取れます。ここから、エが正解であると分かります。また、二行後「確かに優理ちゃんは、うまいよ」の後には「でも、下絵の雑さは認めるわけにはいかない」という気持ち省略されていると考えられます。したがって、イも当てはまると言えるでしょう。

問七

**B1** 類推 具体化

自分の仕事ではない下絵の担当について文句を言ってくる正野に対し、風味が反発している場面です。次の日に色塗り担当の男子三人ともめている場面でも、風味が男子三人に対して同じように口出しをするなどという内容の発言をしています。——⑦の十五行後「やる気がない人は、口出しせんぞつ」という発言から、正野をふくめた男子三人を、風味は「やる気がない人」ととらえていることが分かります。

問八

**A2** 知識 置換

⑦「しゃあしやあと」は、「厚かましくて恥ずかしいとも思っていない様子、非難されてもまったく気にしていない様子」を表す言葉です。まだ下絵が完成していないにもかかわらず、優

理の担当分は完成していることから「横田さんの下絵はできてるもん」と風味にあてつけるように言う正野の様子を読み取りましょう。⑩「いたたまれなかった」は、漢字では「居たたまれなかった」と書き、「恥ずかしさや申し訳なさなどで」その場にじっとしてられない」という意味の言葉です。

問九

**B1** 推論 具体化

「眉を寄せる」は、不快な気持ちを表すために眉の根元が中央に寄る様子を指す言葉です。直後に「意見なんかあったのだろうか」とあり、直前の正野の発言にある「おれらの意見もきかんで」という部分に風味が「話し合いの間手遊びや私語ばかりして意見も言わなかったせに」と反発を覚えている様子が続いています。ア「自分の態度を反省」、ウ「自分たちだけで仕事を進めてしまったことを後悔」、エ「楽しい色塗りだけちゃっかり参加しようとする」がそれぞれ誤っています。

問十

**B1** 類推

風味が「どうせ私は⑨よ」と発言していることから、これ以前に風味が誰かから⑨の内容を言われているということが分かります。直前の場面をさかのぼると、——⑧の七行前に正野が風味に対して「自分勝手に仕事は決めるわ、進めるわ」と発言しています。

2 稲垣采洋の「イネという不思議な植物」から出題しました。

日本で長い間栽培されてきたイネという植物とその特徴が、日本人の気質を作り上げることにどのように影響をあたえたかという内容を考察した文章です。

問一 B1 比較 具体化

①をふくむ一文を全体でとらえると、「昔の人たちの気持」とは、植物を育ててみると理解しやすくなる気持ちであるといえます。一つ前の段落に「農作物を作ることに關して、異常気象に対してはほとんど何もできず受け入れるほかない」という内容があることをふまえて考えましょう。このような前提があることから、農作物を無事に収穫できることは、それを可能にしてくれた神への感謝につながるのだと考えることができます。

問二 A2 知識 関係

前後の關係に着目しましょう。

1 《1》の前には「植物を育てるうえで、太陽の力と雨の力は人間にとってコントロールできないものであり、それを昔の人は『神』ととらえた」という内容が書かれています。これに対して後には「稲作は一年に一度しか行うことができな」という条件が付け加えられています。したがって「しかも」でつながります。

2 《2》の前には「暑い日に道ばたで出会った二人の日本人女性のうち、一人は日傘をさしており、もう一人は日傘を持っていなかった」という事実が書かれており、後には「日

傘をさしていた女性が炎天の下で日傘を閉じた」という事実が続いています。前の内容が後の内容の理由となっていることから、順接の「すると」が入ります。

3 《3》の前には「悠久の稲作の歴史の中で日本人が育ててきた大切なものは失われないようにする」という内容が書かれており、後には「失わないどころか海を越えて世界に伝えていきたい」という筆者の思いが語られています。前の内容よりも後の内容を強く主張する「むしろ」でつながります。

問三 B1 類推

②をふくむ段落で語られているのは、日本人とリズムの関係です。特に、日本人は裏拍でリズムを取ったり、アップビートの曲に乗って拍手することがあまり得意でないと指摘されています。②十九行後に、ここでのリズムの話のまとめとして「日本人のリズム感にまで、田植えは影響している」という内容が書かれています。

問四 B1 抽象化

③がどのようなことか例になつていのかを問う問題です。相手が日傘を持っていないという理由で自分までもが日傘を閉じてしまうのは、「相手と自分がちがうことをしているのは良くない」という考えからのことです。この内容を過不足なく指摘しているのは、《2》四行前の「日本では、他の人と同じであることが必要以上に求められるのである」の文であるといえます。

問五

**B1 比較 推論**

筆者は、稲作が日本人の気質に大きな影響をあたえてきたことを認めながらも、それ以外に「度重なる災害」という大きな要因があったのではないかと主張しています。ア「利己的な気質が備わった」、ウ「まったく異なるものになっていたのでないか」、エ「欧米人より優れているのではないか」がそれぞれ誤っています。

問六

**A1 知識**

⑤ をふくむ段落の内容から、「我田引水」が入ります。自分のことしか考えないような行動を取る人に対して「そんな我田引水なやり方をしていては信用を失うよ」などのように使います。

問七

**B1 類推**

⑥ 前後の段落では、日本人が自然災害の中で助け合つて苦難を乗り越えてきたことが説明されています。その結果作られた日本人像とは、「助け合う」「乗り越える」がキーワードになるものと考えられます。

問八

**B1 比較 具体化**

日本人の特徴に対して批判を浴びせてきたのは、「外交的」で「個性を尊重する」欧米の人々です。つまり、個人で物事を判断しようとせず協調性を重んじる日本人の行動が、欧米人には「外交的でない」「個性を尊重していない」と映つたということです。

問九

**B1 類推 具体化**

⑧ 直前「相手の気持ちを慮つて」から、日本人が「大声をあげて泣きたい自分の気持ち」より優先するものとは、「泣いている自分を見て相手が悲しむことを避けよう」という考えであることが読み取れます。これは、一つ前の段落「相手に悲しい思いをさせない」と一致しています。

問十

**B1 分類 類推**

ぬけている文をもとにもどす問題です。やみくもに探すのではなく、ぬけている文との関連を考え、同じ話題について語られている部分を重点的に探すようにしましょう。また、実際に文をもとの場所にもどして読み、意味が通るかどうかを確認しておくのも大切な作業です。「しかし」という逆接と「日本人であれば」という表現に注目し、外国人が日本人の行動を理解できないでいる場面を探します。——⑦五行後から始まる段落に該当する内容が見つかります。

問十一

**B1 抽象化 比較**

内容一致の問題です。選択肢の内容と本文の内容がどのように対応しているかをおさえ、必ず本文と照らし合わせて選択肢の正誤を判断しましょう。ア「現代では異常気象に対応する仕組みが確立しつつあり」、イ「日本に比べると災害にあう機会が少なかった」、エ「外国でも日本を見習って協調性を重んじるべきである」がそれぞれ誤っています。また、ウの内容は⑥の三つ後の段落の内容と一致しています。